

平成 28 年 3 月 23 日

## 実務者会報告と次年度活動案

### 1. 実務者会メンバーについて（資料 1-①）

### 2. 取り組み経過について

第 1 回実務者会 9 月 25 日

- ・これまでの経緯の報告
- ・平成 23 年度事業所懇談会でまとめた課題の共有
- ・新たな課題抽出…KJ 法にて、一人 3 課題以内
- ・カテゴリーごとに固めて整理
- ・意見交換

第 2 回実務者会 12 月 17 日

- ・第 1 回会議で抽出された 46 課題をカテゴリーごとに整理したものを提示（資料 1-②）
- ・グループワーク
- ・課題の選定…各自 1~2 課題を選ぶ
- ・個人ワーク…選ばれた 8 課題の中から緊急性と実現性の観点から点数をつけて投票

第 3 回実務者会 2 月 25 日

- ・第 2 回会議で投票された課題を緊急性と実現性の両方の観点からグラフ化にし、上位の 2 課題に絞る。「災害時の対応の周知」「福祉マップ「あしやっぷ」等の改定」
- ・グループワーク
- ・個人ワーク
- ・投票
- ・最終的に「福祉マップ「あしやっぷ」等の改定」を選定  
ただし投票結果では、2 課題目の「災害時の対応の周知」の一環として、福祉マップの中に災害情報も掲載するという意見も複数あり

### 3. 次年度活動案

今年度の実務者会で、最終課題として選定された「福祉マップ「あしやっぷ」等の改定」を専門部会を立ち上げて取り組む

No.	所 属	名 前
1	阪神南障害者就業・生活支援センター	藤川 喜正
2	兵庫県立芦屋特別支援学校	松井 俊朗
3	芦屋市身体障害者福祉協会	七村 千里男
4	芦屋市身体障害児者父母の会	能瀬 仁美
5	芦屋市手をつなぐ育成会	小野 幸子
6	芦屋家族会	斉藤 登
7	芦屋メンタルサポートセンター	金近 知明
8	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	山岸 吉広
9	学校教育課特別支援教育センター	浦山 佳代
10	子育て推進課	池田 聡子
11	健康課	鍋田 裕子
12	生活援護課	田村 直子
13	障害福祉課	平井 和樹

事務局		
	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	丸谷 美也子
	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	野中 萌絵

その他		
	障害福祉課	西川 隆士

平成27年度実務者会「課題整理まとめ」

資料1-②

カテゴリー(大項目)	カテゴリー(中項目)	No	課題	備考	
個別支援	対象者	1	支援対象が広がっていることへの対応力(難病・生活困窮・障がいの疑いのケース)		
		2	高齢障がい者への支援(高齢福祉との連携)		
		3	複合問題ケースが増えている(キーパーソンの不在)		
		4	障がいの疑いのある児童がサービス利用しにくい		
		5	精神障がいの実態がわかりにくい		
		6	相談の内容が複雑になってきている		
	事業所の課題	7	生徒数の増加により教室が不足・仮設校舎で対応しており、環境が整っていない		
		8	身体障がい児もいるがエレベーターがー基しかなく不自由		
		9	平成27年度から校区を神戸市東灘区まで拡大		
		10	精神障がいのサービスを受け持つ範囲がメンタルサポートセンターだけではカバーできない		
社会資源	行き先受け皿	11	重度障がい者の入所施設・グループホームの不足		
		12	グループホームが少ない・市内に事業所が少ない		
		13	自立に向けたショートステイの場が欲しい		
		14	訓練ホームの設置		
		15	卒業後の進路選択で、市内の作業所が少ない		
		16	障がいを持つ人の話をひたすら聞くことの需要がある		
		17	本人に合ったサービス・資源が少ない		
		18	精神障がいのサービスを受け持つ範囲が拡大している		
		19	どこか大本が生涯の一元管理する仕組みを作る必要がある		
	サービス	20	児童デイの事業所が増えて、児童の取り合いになっている		
		21	事業所間で請求関係でトラブルがあり利用者に影響がある		
	連携ネットワーク	22	事業所間の連携がもっと必要		
		23	学校と事業所との連携をとり、支援に一貫性をもたせる		
		24	障がい福祉サービス以外での地域とのつながりや参加が薄い		
	相談支援	25	計画相談支援事業所が足りていない		
		26	人材が足りない		
	情報	27	サービス等の変化時にすぐに説明会を市民向けに開く(広報)		
		28	家族の座談会や勉強会を開いて欲しい		
		29	啓発冊子の改定		
		30	福祉マップ「あしやっぶ」の改定		
	家族支援	高齢化	31	家族の高齢化に伴い、家族の相談の強化が必要	
		親亡き後	32	高齢で介護できなくなった時や、親亡き後の支援	
		障がい受容	33	家族のケア、座談会、悩みを話せる場がない	
	医療	医療	34	訓練入院をする病院がない	
	健康	予防	35	精神障がい者に対する生活習慣病予防の働きかけが難しい	
	就労支援	就労移行	36	福祉的就労から一般就労への移行があまり進んでいない	
			37	卒業後の進路・就労時のフォロー・就労に向けての課題	
		就労の場	38	雇用場所の確保が難しい	
			39	障がいのある人の一般就労枠の拡大	
		就労支援	40	生活保護受給者で精神通院で就労意欲のある人の支援先はハローワーク以外にないか	
41	生活保護受給者で知的障がいの疑いのある人の支援先がない				
教育	サポートファイル	42	サポートファイルの啓発・活用		
	放課後・余暇	43	放課後・余暇の過ごし方に課題がある(放課後等デイに行けずに家で過ごす)		
緊急時・災害時	災害	44	支援体制の整備・重度障がい者の対応		
		45	災害時の対応の周知		
	緊急時	46	24時間対応のコールセンターの設置(緊急時の送迎他)		

課題	緊急性	順位	実現性	順位
課題12	3.6	4	2.5	7
課題19	3.0	8	2.2	8
課題22	3.5	6	3.6	4
課題30	3.6	4	4.6	1
課題33	3.1	7	3.7	3
課題38	3.9	2	2.9	6
課題45	4.2	1	3.9	2
課題2	3.9	2	3.3	5

